

社会資本総合整備計画

平成28年3月11日

計画の名称	3命と暮らしを守る道路インフラの再構築による安全安心なまちづくり						重点計画の該当					
計画の期間	平成24年度～平成28年度 (5年間)	交付対象	三重県、桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、菰野町、朝日町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、玉城町、大紀町、南伊勢町、度会町、鳥羽市、志摩市、伊賀市、名張市、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町									
計画の目標	道路利用者の安全と災害時における輸送経路を確保するため、道路施設の老朽化対策や防災・減災対策、通学路の危険箇所対策を推進し、併せて関連するインフラ整備、ソフト対策を効果的に実施することで地域防災力の向上を図り、安心して暮らせる生活環境を構築する。											
計画の成果目標 (定量的指標)	橋梁長寿命化修繕計画でH24～H28の5ヵ年間で要対策となっている橋梁に対し、確実に修繕・更新を実施。 通学路における緊急合同点検により抽出した対策必要箇所 (道路管理者対策分) の解消率を19%(H24)から63%(H28)に向上。											
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考					
				当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	・第2次旧員弁郡定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：3-A31、3-A207、3-A208、3-A239 ・南伊勢町地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：3-A204					
橋梁長寿命化修繕計画に基づく対策実施率を算出。 〔対策完了橋梁数〕 / 〔長寿命化修繕計画で5ヵ年の間で計画的に対策すべき橋梁数〕 × 100				0%	51%	100%						
緊急合同点検の対策必要箇所の解消率を算出 〔対策完了箇所数〕 / 〔緊急合同点検での対策必要箇所のうち道路管理者が実施する対策箇所数〕 × 100				19%	55%	63%						
全体事業費	合計 (A+B+C)	16,992 百万円	A	15,732 百万円	B	0 百万円	C	1,260 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	7.4%

交付対象事業

A 道路事業													全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)									
											H24	H25	H26	H27	H28					
3-A1	道路	一般	桑名市	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=4橋	桑名市						55	策定済			
3-A2	道路	一般	いなべ市	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕 N=5橋	いなべ市						200	策定済			
3-A3	道路	一般	木曾岬町	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=3橋	木曾岬町						44	策定済			
3-A4	道路	一般	東員町	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕 N=7橋	東員町						82	策定済			
3-A5	道路	一般	四日市市	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=4橋	四日市市						65	—			
3-A6	道路	一般	菰野町	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=15橋	菰野町						146	策定済			
3-A9	道路	一般	鈴鹿市	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕 N=32橋	鈴鹿市						271	策定済			
3-A10	道路	一般	亀山市	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=8橋	亀山市						282	策定済			
3-A11	道路	一般	津市	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=2橋	津市						57	策定済			
3-A12	道路	一般	松阪市	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=10橋	松阪市						218	策定済			
3-A14	道路	一般	明和町	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕 N=7橋	明和町						80	策定済			
3-A15	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=2橋	大台町						34	—			
3-A16	道路	一般	伊勢市	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=4橋	伊勢市						97	策定済			
3-A17	道路	一般	伊勢市	直接		市町村道	修繕	トンネル長寿命化修繕事業	トンネル修繕 N=2箇所	伊勢市						117	策定済			
3-A18	道路	一般	玉城町	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕 N=6橋	玉城町						15	策定済			
3-A19	道路	一般	大紀町	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=12橋	大紀町						119	—			
3-A20	道路	一般	南伊勢町	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=4橋	南伊勢町						60	—			
3-A23	道路	一般	志摩市	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=3橋	志摩市						42	策定済			
3-A24	道路	一般	伊賀市	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕 N=5橋	伊賀市						198	策定済			
3-A25	道路	一般	名張市	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕 N=6橋	名張市						126	策定済			
3-A26	道路	一般	尾鷲市	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=4橋	尾鷲市						29	策定済			
3-A28	道路	一般	熊野市	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=5橋	熊野市						52	—			
3-A29	道路	一般	御浜町	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震 N=1橋	御浜町						20	策定済			
3-A30	道路	一般	紀宝町	直接		市町村道	修繕	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁修繕・耐震・架替 N=2橋	紀宝町						40	—			
3-A31	道路	一般	東員町	直接		市町村道	交安	(1) 笹尾幹線1号線外1路線	歩道整備 L=2400m	東員町						102	—			

3-C24	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C25	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C26	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C27	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C28	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C29	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C30	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C31	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C32	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C33	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C34	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C35	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C36	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C37	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに、対策の可否を判定することで、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通が確保できる。	
3-C38	道路付属物の点検を実施し、健全度を把握することにより、道路網の安全性・信頼性を確保するとともに予防的・計画的な修繕を実施することができる。	
3-C39	道路付属物の点検を実施し、健全度を把握することにより、道路網の安全性・信頼性を確保するとともに予防的・計画的な修繕を実施することができる。	
3-C40	安全で円滑な交通環境を確保、持続させるため、法面、盛土等危険箇所点検を実施し、道路網の安全性・信頼性を確保するとともに災害防除対策を実施するための基礎資料として活用するものである。	
3-C41	安全で円滑な交通環境を確保、持続させるため、法面、盛土等危険箇所点検を実施し、道路網の安全性・信頼性を確保するとともに災害防除対策を実施するための基礎資料として活用するものである。	
3-C42	安全で円滑な交通環境を確保、持続させるため、法面、盛土等危険箇所点検を実施し、道路網の安全性・信頼性を確保するとともに災害防除対策を実施するための基礎資料として活用するものである。	
3-C43	(3-A42, A44)の通学路整備と一体となって排水路整備を行う事により、道路冠水の未然防止を図り、安全な通学路を確保する。	
3-C44	(3-A16)の橋梁修繕・耐震化事業と一体となって、避難地へのルートを確認すると共に市内全域へ的確に情報発信が出来るよう防災無線整備を行い、災害時の迅速な避難を促して市民の生命を守る。	
3-C45	(3-A1)橋梁修繕と一体となって消防車を高機能化し配備することで、災害時等の移動・防災活動の体制強化を図り、住民が安全に安心して暮らせる環境が構築できる。	
3-C46	道路交通の安全性を確保するため、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化によるコスト削減を図るため、長寿命化修繕計画を策定する。	
3-C48	(3-A2)橋梁修繕と一体となって災害拠点病院近隣にヘリポートを整備することで、災害時の移動・搬送体制の強化を図り、住民が安全に安心して暮らせる環境が構築できる。	
3-C49	(3-A66)歩道整備と一体となって公共施設のバリアフリー化(道路から入口まで)を行うことで、地域住民が公共施設を安全に利用できる環境が構築できる。	
3-C50	(3-A6)橋梁修繕や舗装修繕と一体となって、消防車を高機能化し配備することで、災害時等の移動・防災活動の体制強化を図り、住民が安全に安心して暮らせる環境が構築できる。	
3-C51	(3-A116)ほか交通安全事業と一体となって防犯灯を整備することで、学童や地域住民の交通安全対策・防犯対策を強化し、地域住民が安全に安心して暮らせる環境が構築できる。	
3-C52	(3-A10, A122～A126)の橋梁修繕・耐震化事業と一体となって耐震性貯水槽を整備することで、地域防災力の向上を図り、地域住民が安全に安心して暮らせる環境が構築できる。	
3-C53	(3-A132)ほか交通安全事業と一体となって防犯灯を整備することで、学童や地域住民の交通安全対策・防犯対策を強化し、地域住民が安全に安心して暮らせる環境が構築できる。	
3-C54	(3-A11)橋梁修繕と一体となって消防車、救急車を増車配備することで、災害時等の移動、防災・救命活動の体制強化を図り、住民が安全に安心して暮らせる環境が構築できる。	
3-C55	(3-A16)橋梁修繕と一体となって小型動力ポンプ付積載車等の緊急車両を高機能化および増車配備することで、災害時等の移動・防災活動の体制強化を図り、住民が安全に安心して暮らせる環境が構築できる。	
3-C57	(3-A45～49)の交通安全事業と一体となって防犯灯を整備することで、学童や地域住民の交通安全対策・防犯対策を強化し、地域住民が安全に安心して暮らせる環境が構築できる。	
3-C61	(3-A55)の歩道整備と一体となってコミュニティバスを高機能化し運行することで、高齢者や児童生徒等交通弱者の安全で安心な交通が確保できる。	
3-C62	(3-A24)橋梁修繕と一体となって消防車を高機能化し配備することで、災害時等の移動・防災活動の体制強化を図り、住民が安全に安心して暮らせる環境が構築できる。	
3-C63	(3-A24)橋梁修繕と一体となって耐震性貯水槽を整備することで、災害時等の移動・防災活動の体制強化を図り、住民が安全に安心して暮らせる環境が構築できる。	
3-C64	(3-A24)橋梁修繕と一体となって防災用備蓄拠点を整備することで、災害時等の移動・防災活動の体制強化を図り、住民が安全に安心して暮らせる環境が構築できる。	
3-C65	(3-A153)舗装修繕と一体的に流末となる下水管(雨水排水管)を修繕することで、豪雨時の道路冠水を防ぎ安全で円滑な道路利用環境が確保できる。	
3-C66	(3-A63)歩道整備と一体となってコミュニティバス利用のための駐輪場を整備することで、交通弱者の安全で円滑な移動が確保できる。	
3-C67	道路交通の安全性を確保するため、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化によるコスト削減を図るため、長寿命化修繕計画を策定する。	
3-C69	道路交通の安全性を確保するため、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化によるコスト削減を図るため、長寿命化修繕計画を策定する。	
3-C70	点検結果により得られた成果に基づき、計画的かつ効率的な修繕を実施することで、道路利用者の安全かつ円滑な交通の確保と毎年の修繕に伴う予算の平準化を図るため、修繕計画を策定する。	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		